

ごあいさつ

神奈川大学
学長荻原玲二

神奈川大学は、昨年、創立60周年を迎えました。これを契機に、次の世紀を展望して、「新しい時代の新しい大学像」をめざして、創立60周年記念事業が力強く推進されております。

学校法人神奈川大学知識情報研究所は、この事業の最も大きな平塚新キャンパスにおける新学部構想を推進する役割の一翼を担って、昭和61年7月に開所式が行われました。

この度、開所以来の諸活動を記録する研究所年報が刊行される運びになりましたことは、所長藤原鎮男先生をはじめ、研究室の方々のご努力の結果であります。このことは、平成元年4月を期しての新キャンパスの新学部開設とともに、新学部構想の一翼が着実に推進されている証として喜ばしい限りであります。国際化、そして情報化が急速に進展する中で、新学部構想は、こうした時代の要請に応えとともに、地域社会の活性化にも貢献しなくてはなりません。ここにも、研究所の諸事業が研究活動に期待するところ極めて大きいものと存じます。こうした意味からも、他の大学に先がけて、しかも法人所属として開設された当研究所の意義は大きいものと確信している次第であります。

幸い、所長をはじめとする得難い人材が、スタッフとして、フォーラム開催という実績、社会と一体となって展開されている研究活動などは、広く人びとの注目するところであります。

今後は、さちに国際会議の開催、研究員を中心とする共同研究、科学技術用語集の編集、刊行などにより、これからの科学技術の発展に貢献し、また社会の期待に応え、教育、研究の推進力になることをここに一層期待申しあげて、ごあいさつとする次第であります。